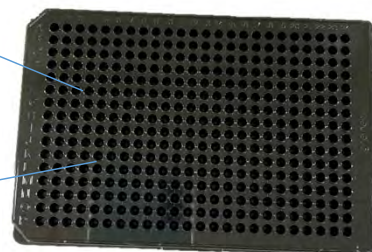


Assay-ready plates (Echo分注) による酵素アッセイ例



small-volume 384 well plate

(10 μ L/well 以下でアッセイ可能)

Echo 分注プレート

そのままアッセイプレートとして使用

2 mM化合物 20 nL/well

(Echoは1滴2.5 nLの倍数で最大1000 nLまで分注可能)



酵素分注 2 μ L/well



基質分注 2 μ L/well

撹拌
遠心



Total volume 4 μ L/well
化合物濃度 10 μ M (0.5% DMSO)

incubation



検出試薬分注 4 μ L/well
(Total 8 μ L/well)

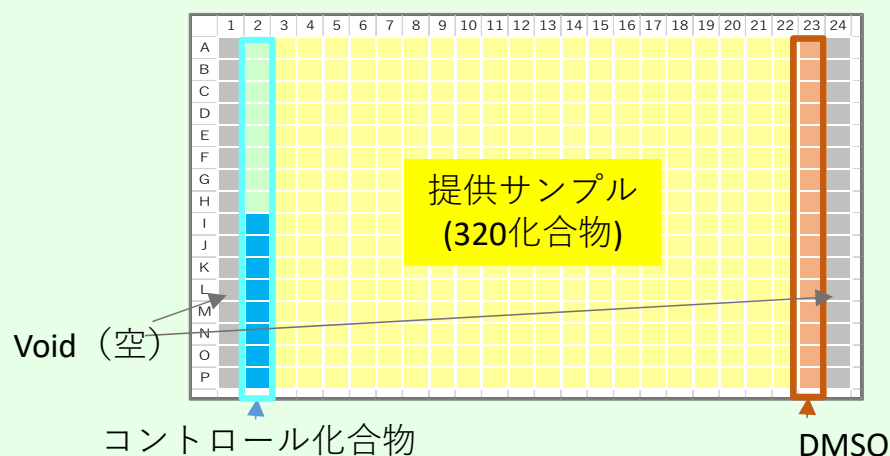
撹拌
遠心



incubation
測定

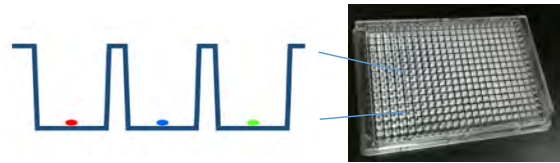
プレートマップ (分注レイアウト) の例

(申請書(様式12)で指定パターンから選択可能)



Assay-ready plates (Echo分注) による細胞アッセイ例

①浮遊細胞として扱える場合 ②接着細胞に化合物を後添加する場合



Echo分注プレート
2 mM化合物 40 nL/well

細胞分注
40 μ L/well

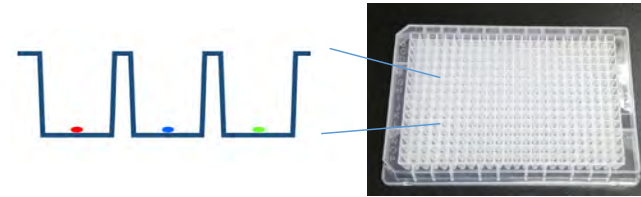
Total volume 40 μ L/well
化合物濃度 2 μ M
(0.1% DMSO)

培養

検出試薬添加
4 μ L/well

撹拌
incubation

そのまま
アッセイ
プレート
として測定

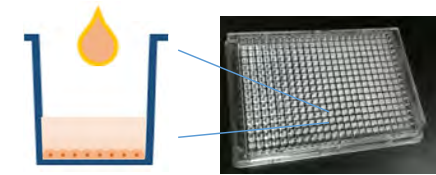


Echo分注プレート(化合物希釈用プレート)
2 mM化合物 60 nL/well

培地分注 15 μ L/well
化合物濃度 8 μ M
(0.4% DMSO)

10 μ L/well
transfer

Echo分注プレートへの培地添加で、
4倍終濃度の化合物溶液を作製し、
そこから細胞播種済アッセイ
プレートに10 μ Lだけ添加する。
そうすることで、大変な1 μ L程度の
多種化合物溶液の微量ピペット操作
なく、終濃度2 μ M培地が作製でき、
化合物溶液を均一化しやすい。



アッセイプレートに細胞を
30 μ L/wellで播いておく

培養

Total volume 40 μ L/well
化合物濃度 2 μ M
(0.1% DMSO)

培養

検出試薬添加
4 μ L/well

撹拌
incubation

測定